

## 4 . 新たな価値を生み出す市政改革

質の高い行財政運営の推進

官民連携・府市連携の推進

# 質の高い行財政運営と官民連携の推進

厳しい財政状況の中でも市民サービスの拡充と財政の健全化を図るため、これまでの改革の成果を活かしつつ、新たな価値を生み出す4年間の市政改革計画を次の項目に沿って、平成28年7月を目途に策定

## 質の高い行財政運営

市民利用施設におけるサービス向上、ICTを活用したサービス向上、業務執行の効率化、歳出の削減、歳入の確保 など

## 公共施設等の見直し

公共施設の総合的かつ計画的な管理、市民利用施設の受益と負担の適正化 など

## 人材育成

改革を推進する職員づくり、働きやすい職場環境づくり など

## 継続的・自律的な市政改革

P D C Aサイクルの徹底、内部統制体制の確立 など

## 官民連携

各事業の経営システムの見直し、民間活力の活用手法の検討 など

# 質の高い行財政運営の推進

市民・利用者の視点に立ったサービスの向上や事務処理の質的向上、経費の削減及び歳入の確保といった観点から、質の高い行財政運営を推進

## 市民利用施設におけるサービス向上

トイレの改修や開館日・開館時間の拡充等

(7,200万円)

- 美術館における展示環境の充実のための機能向上(空調設備)
- 信太山青少年野外活動センター(青少年の家)のトイレの洋式化等
- 天王寺動物園のトイレの改修・美装化
- クレオ大阪西のこども文化センターとの複合化に伴う開館時間の前倒し等 など

## ICTを活用したサービス向上、業務執行の効率化

オープンデータ専用サイト運営、効果的な施策の実施をめざしたビッグデータ分析の有効性実証調査 (1,000万円)【再掲】

スマートフォン向け情報提供促進 (400万円)【再掲】

庁内情報端末のハイブリッドタブレット化による業務効率化など (3,700万円)【再掲】

市税に係るクレジット収納及びWeb口座振替受付サービスの導入 (3,600万円)



## 効率的な行財政運営

歳出の削減、歳入の確保

施策・事業の見直し マイナスシーリングの取組み 51億円

未利用地の有効活用等 売却収入目標額 153億円

給与カットの継続実施 53億円

広告事業の推進 目標効果額 5億円

# 官民連携の推進

官民の最適な役割分担のもと、官が担っている事業を民間が担うことにより、コスト削減とサービス向上が期待できるものは積極的に民間開放を推進

## 新たな経営形態(主なもの)

### 地下鉄

株式会社化

#### 【平成28年度の取組み】

- 資産価値の確定
- 準備会社の設立に向け、必要な手続きの準備

### バス

事業譲渡

#### 【平成28年度の取組み】

- 大阪シティバス(株)への一括譲渡に向けた準備

### 水道

公共施設等運営権制度の導入

#### 【平成28年度の取組み】

- 実施契約書案の作成準備
- 運営会社の設立に向け、定款の作成等の準備

### 下水道

公共施設等運営権制度の導入

#### 【平成28年度の取組み】

- 施設運転維持管理の都市技術センターへの包括委託継続
- 新組織の設立

### 幼稚園

民営化

#### 【平成28年度の取組み】

- 認定こども園として民間移管の実施(泉尾幼稚園)
- 堀江幼稚園の民間移管準備
- 今後の進め方を検討

### 保育所

民営化

#### 【平成28年度の取組み】

- 民間移管の実施(5か所)
- 今後民間移管する保育所に係る法人の公募・選定
- 移管に係る新施設整備補助

### 博物館

地方独立行政法人化

#### 【平成28年度の取組み】

- 博物館のめざす姿を示すミュージアムビジョンを策定
- 地方独立行政法人化基本プランを策定

### 一般廃棄物収集輸送

民間化

#### 【平成28年度の取組み】

- 北、都島区の普通ごみ収集、西、港、大正区の古紙・衣類収集を民間委託
- 今後の進め方を検討

## PFI手法を活用した公共施設の整備

### 海老江下水処理場改築更新事業

( 7 , 9 0 0 万円 )

○ 老朽化した水処理施設の改築更新について、民間の技術的ノウハウを活用し事業の効率化を図るため、PFI事業として実施(設計・建設から保全管理までを一体的に実施(平成28～平成51年度))

・ 平成28年度実施内容

アドバイザー業務(平成27年度から継続)

水処理施設の実施設計 等

### 新しい美術館の整備事業

( 4 , 6 0 0 万円 ) 【再掲】

### 客船ターミナルの民間事業者による整備・運営

( 4 0 0 万円 ) 【再掲】

# 府市連携の推進

府市で類似重複するサービスを担っているものについて、  
一つに合わせることで機能向上及び効率化を図ることができるものは、統合を推進

特別支援学校

市立特別支援学校を府へ移管（平成28年4月移管予定）

【平成28年度】

【めざす姿】

病院

住吉母子医療センター（仮称）建設工事と民間病院誘致  
府市病院機構の経営統合に向けた準備

住吉母子医療センター（仮称）開設  
経営統合

港湾

府市港湾管理の一元化に向けた準備

大阪湾諸港の管理一元化

大学

新大学開学に向けた準備

新大学開学

工業研究所

産業技術総合研究所との法人統合に向けた準備

法人統合

環境科学研究所

公衆衛生研究所との統合・地独法人化に向けた準備

統合・地方独立行政法人化

## 5 . 新たな自治の仕組みの構築

副首都大阪にふさわしい大都市制度案の再設計

# 副首都にふさわしい大阪の確立

## 「副首都・大阪」の将来ビジョン策定

副首都推進本部(平成27年12月28日設置)

「副首都」の必要性や意義、「副首都」にふさわしい行政機能のあり方などについて、幅広く意見を聞きながら検討

↓

本部長：大阪府知事 副本部長：大阪市長  
本部員：副知事、副市長、関係部局長  
必要に応じて学識経験者(特別顧問等)などが参画  
副首都化の推進については、  
・ 堺市、市長会、町村長会が参画  
今後、経済界の参画を検討

中長期的ビジョン・取組み方向の決定

議論の  
サポート

副首都推進局の府市共同設置  
(平成28年4月1日予定)

- 本部会議の事務局機能
- 新たな大都市制度のあり方について  
住民と意見交換

## “副首都・大阪”の確立

- 東西二極の一極として、“首都・東京”とともにわが国の成長をけん引
- 非常時には首都機能のバックアップ